

< 国道23号品川町環境施設帯の整備・効果の概要 >

◇整備の概要

<環境施設帯とは？>

- ◆環境施設帯とは、幹線道路の沿道の生活環境を保全するための植樹帯、路肩、歩道、側道等の部分をいいます。

<整備状況>

- ◆環境施設帯(延長約300m、幅約20m)、遮音壁(延長約360m)、低騒音舗装(約1900㎡)等を整備
- ◆歩道橋架け替え(名四歩道橋)



◇整備の効果

環境施設帯整備による沿道環境の改善効果を調べるため、環境調査及び沿道の皆さん・小学生へのアンケートを実施しました。

<環境調査結果及び整備効果>

◆騒音調査結果 → 環境基準を達成！

(遮音壁(H=5m:遮音壁新設設置区間)、低騒音舗装の設置により、環境基準を達成しました。)

- ・1階、2階で、昼夜間とも環境基準を達成しました。

◆騒音の整備効果

- ・1階部分で、-14dBの騒音低減が確認されました。

昼 夜	測定高さ	事後測定値	環境基準値
昼 間	4.2m(2階)	59	70
	1.2m(1階)	57	
夜 間	4.2m(2階)	57	65
	1.2m(1階)	55	



※環境施設帯整備後の官民境界付近での測定値

◆大気調査結果

環境施設帯整備後の官民境界付近において、大気調査を行いました。

測定値	NO ₂ (ppm)	SPM(mg/m ³)
	1時間値の1日平均値	1時間値の1日平均値
測定値	0.033	0.031

※環境施設帯整備後の官民境界付近での7日間測定値

<アンケート調査結果>

◆沿道の皆さんの声(環境施設帯)

<環境面>回答者のうち約5割の方が、「騒音」について改善効果を実感！

<利用面>回答者のうち約5割の方が、「通行しやすくなった」「緑が増えた」「歩道が広くなった」との項目で改善効果を実感！

◆小学生の声(名四歩道橋)

<利用面>回答者のうち約5割の方が、「幅が広くなり歩きやすい」との項目で改善効果を実感！

環境調査結果より、「騒音」の環境基準を達成できました。

また、アンケート調査結果より、多くの沿道の皆さんから「沿道環境の改善効果があった」との意見をいただきました。

今後も、引き続き良好な沿道環境の確保に努めていきます。